

本学のシラバスについて

FD 委員会

I. シラバスとは

シラバスとは、年間の大まかな授業計画のことです。シラバスは講義科目のガイドブックみたいなもので、「どんな授業があるのかな?」とか、「この授業ってどんな勉強をするんだろう?」とか疑問に思ったときに、調べる『早わかりガイド』みたいなものです。これを読むと、授業のやり方や内容、達成目標（何ができるようになるのか）が明確にイメージでき、履修するかどうか、履修するとすれば何年次が適切か、などの判断に役立ちます。また、教科書や参考書の紹介、予習・復習の必要性なども書かれていて、自律的な学習への意欲が高まり、受講の成果を十分にあげられるような工夫が可能になります。

シラバスの内容が適切であることは、教育の質が高いことを示す一つの証と言えます。シラバスを通して、本学の教育の体系や特色についてもお伝えすることができればと願っております。

II. 本学のシラバス取組の姿勢と特色

本学では、『シラバス作成の要領』を作成し、全教員はそれに基づいてシラバスを作成するように努めています。その特色は以下の通りです。

1. シラバス作成の目的

シラバスの目的を明示し、全教員で共有するように努めています。

2. 事前及び事後に受講して欲しい科目等

履修の順序性及び科目の関連性を踏まえ、授業を位置づけ、設計するように努めています。

3. 授業の到達目標

学習者の側に立って、達成可能な現実的なレベルの行動目標を「…できる」等の表現で掲げています。また、到達目標は、「知識・理解」、「技能（技術・能力・スキル）」、「態度」の3つの領域の観点を踏まえて設定するように配慮しています（どの領域に重きを置くかは授業によって異なります）。

4. 授業の目的

授業の目的は、教育目標、修得すべき能力、学位授与の方針等との関係を参考に、記述するように努めています。

5. 授業の概要

授業の概要は、抽象的・専門的な用語をなるべく避け、わかりやすく、具体的に記述するように努めています。

6. アクティブ・ラーニングの活用の明記

アクティブ・ラーニング（能動的学修）とは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を指します。今日の大学教育は、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業への転換が求められています。本学は、アクティブ・ラーニングに積極的に取り組んでいます。そこで、アクティブ・ラーニングを行っている授業では、授業概要にその旨を記載し、学生にもわかるように努めています。

7. 地域に関する学習の明記

今日、大学には地域を志向した教育・研究・社会貢献が求められています。本学は、すべての人の幸せ・生きがい（well-being）をめざすという広い意味での福祉の理念のもと、地域共創（大学の持つ資源を活用して、地域のニーズに応え、地域の持つ新たな価値を創造し、共に地域の再生・活性化をめざす）に積極的に取り組んでいます。そこで、地域に関する学習を行っている授業では、授業概要にその旨を記載し、学生にもわかるように努めています。

8. 予習・復習

予習・復習等について示し、事前に学習の準備をして授業に臨めるように、また事後に知識・理解や技能、態度を確認し深めることができるように努めています。

9. 評価の方法・基準

授業の到達目標をどの程度達成できたかを、「知識・理解」、「技能」、「態度」の3つの観点を踏まえて多面的に評価し、その配分割合を明記するように努めています。また、適宜、評価基準を示すように努めています。

10. 授業計画

到達目標の達成に必要な、「知識・理解」、「技能」、「態度」を獲得し、さらに深めて

ゆくことができるように、順序よく計画を立てるように努めています。また、1回毎の授業の概要をわかりやすく短文で示すように努めています。

11. テキスト・参考書

授業やその学問領域への興味・関心を高めるもの、自ら学ぶのに役立つもの、さらに学びを深めるために有用なもの等を、テキストか参考書かを明確に区別して紹介しています。

12. 第三者による確認

シラバスが適切かどうか、毎年の入稿時に第三者（教務課及び教育開発支援室）が確認を行うようにしています。

III. 参考リンク

1. 『シラバス作成の要領』を閲覧したい場合

本学サイトのトップページのバナー「教職員向け FD/SD」をクリックし、「資料」をクリックし、「FD」の「FD 関連資料」をクリックし、その中に掲載の「シラバス作成の要領」をご覧ください。

2. シラバスを閲覧したい場合

本学サイトのトップページのバナー「UNIVERSAL PASSPORT」をクリックし、「ゲストユーザー」をクリックし、「シラバス照会」をクリックしてご覧ください。

なお、上記の取組は平成 26 年度のシラバスより全学的に実施されています。